2026 年 11 月 25 日

各　位

会社名　　株式会社情報戦略テクノロジー
代表者名　代表取締役社長　　高　井　　淳
（コード番号：155A　東証グロース市場）
問合せ先　取　締　役　　瀧　本　　崇
（TEL 03-6277-3461）

情報戦略テクノロジー、ピープルドット社、および、サイバーコマンド社との3社連携を強化し、AI時代のサイバーセキュリティとデータガバナンスの支援を推進

株式会社情報戦略テクノロジー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：高井 淳、以下「当社」）は、当社グループ会社でデータ・AI活用の教育やコンサルティングを手がける株式会社ピープルドット（以下「ピープルドット」）および、外部の業務提携先でサイバーセキュリティに関する教育、コンサルティング、サービス提供を手がけるサイバーコマンド株式会社（以下「サイバーコマンド」）との3社連携を強化し、AIの活用が広がるなかで企業のニーズが高まる、サイバーセキュリティとデータガバナンスの領域での取り組みを推進してまいります。その第一弾として、2026年12月17日（木）に、当社の顧客企業様をご招待する3社共同のセミナーを開催いたします。

情報漏洩を防ぐ対策を尽くすことは、企業にとって当然の前提です。しかし、攻撃の手口が巧妙化し、AI の利用も広がるなか、対策を尽くしてもなお、100%防ぎきることは困難です。だからこそ、防御を固めたうえで、万一のときに被害を最小限に抑え、事業を立て直す備えが、企業経営の課題となっています。当社は、システム開発・DX 支援で培った知見に、ピープルドットの専門性を生かした「内から守る」知見と、サイバーコマンドの専門性を生かした「外から守る」知見を掛け合わせ、企業の備えを支援してまいります。



記

■背景：高まる、セキュリティとデータガバナンスへのニーズ

サイバー攻撃は、企業規模や業種を問わず経営課題になっています。警察庁が 2026 年 9 月に公表した情勢によると、2026 年上半期（1～6 月）に国内で報告されたランサムウェア被害は 123 件で、統計を開始した 2020 年下半期以降、半期として過去最多となりました。

あわせて、取引先・委託先を含むサプライチェーン全体での対策が求められています。経済産業省は、取引先のセキュリティ対策状況を共通の基準で評価する「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（SCS 評価制度）」について、★3・★4 の申請受付を 2026 年度末頃に開始することを目指しています。制度の開始を前に、自社の備えを点検しておく時期に入っています。

社内に目を向けると、AI の利用が広がるなかで、IPA（情報処理推進機構）の「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」の組織向け 3 位に「AI の利用を巡るサイバーリスク」が初めて選ばれました。全社員が AI でデータを扱う時代に、データの持ち方とルールをどう整えるかが問われています。

当社の顧客企業である大手企業からも、「どこまで備えるべきか」「優先して取り組むべき最初の一手は何か」といったご関心をお聞きしています。

■当社が推進する取り組み

当社は、グループ会社のピープルドット、および業務提携先のサイバーコマンドとの連携のもと、次の領域で企業の備えを支援してまいります。ピープルドットはデータ・AI 活用とガバナンスの知見を、サイバーコマンドはサイバーセキュリティの専門企業として、脅威の早期検知、インシデント対応に向けた体制づくり、SCS 評価制度への対応などに関する専門知見を、当社はシステム開発・DX 支援の知見を持ち寄ります。

1．外から守る：脅威の早期検知と、万一の被害最小化
情報流出の兆候を早期に捉え、被害が広がる前に守りの体制を整えるための取り組みです。

2．経営の備え：万一のときに迷わず判断できる体制づくり
事態が起きてからではなく、平時のうちに経営層の判断の拠りどころを整えておくための取り組みです。

3．堅牢なシステムと早期の復旧：設計段階からのセキュリティ
セキュリティを設計段階から組み込んだシステムづくりと、万一の際に早く立て直すための取り組みです。

4．説明できる対策：SCS 評価制度などへの備え
取引先に対策の状況を示し、サプライチェーンの一員として信頼を得るための取り組みです。

5．内から守る：AI 時代のデータガバナンス
従来のチャット型 AI では想定しなかった AI エージェント固有のリスクを踏まえ、守備の土台となるデータガバナンス・AI ガバナンスの考え方の浸透を支援します。シャドーAI への対応、データの分類と全社ルールなど、全社員が AI でデータを扱う時代に、安全な AI 活用を推進する取り組みです。

■第一弾：顧客企業様向けの 3 社共同セミナー

取り組みの第一弾として、2026 年 12 月 17 日（木）18:30～21:00 に、当社の顧客企業の皆さまをご招待し、3 社共同のセミナーを開催します。「外から守る」をテーマにサイバーコマンド 代表取締役 大向 学 氏が、「内から守る」をテーマにピープルドット 代表取締役社長兼 CEO 堅田 洋資が講演し、防御を固めたうえで万一に備える考え方をお伝えします。

※本セミナーは、当社の顧客企業様を対象として開催予定です。

■今後の展望

当社は、本セミナーを皮切りに、ピープルドット、サイバーコマンドとの 3 社連携を深めながら、企業が AI を安心して活用できる環境づくりに取り組んでまいります。セミナーの内容は開催後にレポートとしてお知らせし、その後の具体的な取り組みについても、順次お知らせいたします。

■会社概要

【サイバーコマンド株式会社】

会社名：サイバーコマンド株式会社
代表者：代表取締役 大向 学
所在地：東京都港区東新橋一丁目 1 番 2 号 ATRIUM 東新橋 10 階
電　話：050-6875-7935
事業内容：サイバーセキュリティに関する教育、コンサルティング、サービス提供
URL：https://cybercom.co.jp/

【株式会社ピープルドット】

会社名：株式会社ピープルドット
代表者：代表取締役社長 兼 CEO 堅田 洋資
所在地：東京都千代田区神田神保町 2-44 第 2 石坂ビル 2 階
事業内容：ビッグデータ、人工知能、機械学習をはじめとするデータサイエンスに関わる教育や研修事業
URL：https://peopledot.co.jp/

【株式会社情報戦略テクノロジー】

会社名：株式会社情報戦略テクノロジー（東証グロース・155A）
代表者：代表取締役社長 高井 淳
所在地：東京都渋谷区恵比寿四丁目 20 番 3 号 恵比寿ガーデンプレイスタワー15F
電　話：03-6277-3461
事業内容：大手企業向け DX 内製支援サービス等
URL：https://www.is-tech.co.jp/

以上